

対象事業の名称：厚木警察署新築工事

● 環境配慮検討書の概要

事業の概要	事業の種類	建築物の建設（第3種）	
	計画内容	位置：厚木市水引1-11-13 構造：SRC地上5階 延床面積約6,450㎡ 高さ21m	
	目的	昭和59年に行った耐震診断の結果、本館は「小規模補強が必要」な施設と診断されており、既に46年を経過して老朽化が著しく、各事務室が狭隘であることから建替えを計画したものである。	
	計画地の選定理由	県有地であり、小田急電鉄本厚木駅から北西1kmに位置し、国道246号線に面しており、利便性が高いため、選定した。	
環境配慮の内容	自然・社会環境的要素		
	植物・動物・生態系		
	緑の保全 又は緑化	厚木市景観条例に伴い、景観に合った樹種・高さの選定及び道路に面して緑化を行い、県有施設の緑地確保に関する実施要綱等に基づき、緑化率を15%確保する。	
	景観	厚木市景観条例に基づき、敷地外周部分には植栽帯を設ける。周辺建物との調和を意識した色彩や形状などに配慮する。	
	文化財		
	日照障害	建築基準法等の規制値の遵守はもちろん、建物の配置は可能な限り南側へ配置した。	
	公害防止的要素		
	大気汚染	工事中における建設機械は排出ガス対策型を使用し、土工事時の粉塵について散水等で対策する。発生土運搬、生コン、材料搬出入での車両の待機スペースを場内に設けて敷地外での駐停車を排除し、アイドリングストップと空ふかし禁止を原則とする。	
	土壌汚染	土壌汚染対策法に基づく調査や土砂検定により土壌汚染が判明した場合は適切な処理を講じる。	
	騒音	工事中は敷地周囲に万能鋼板による仮囲いを設置する。工事中における建設機械は低騒音低振動型を使用する。空調・給湯熱源の室外機には騒音計算を元に防音壁の採用を検討する。	
振動	工事中における建設機械は低騒音低振動型を使用する。基礎工事は地盤の状況から杭工事を要するが振動に配慮した工法及び機械の選定を行う。空調・給湯熱源の室外機には防振架台を設置し、振動の低減を図る。		
防災・安全確保的要素			
交通			
渋滞			

	安全	工事中には適正な人数の交通整理員をゲート付近に配置し歩行者の安全に配慮する。
	地震対策	県の耐震建築物計画指針に基づき重要度係数1.50割増をした構造計画とし、災害時の活動拠点の空間を確保する。
地球規模等の環境要素		
	省資源	工事現場で使用する資機材等は県土整備局公共事業グリーン調達基準に準拠し、再生材など環境負荷の低減に資するものの調達に努める。県グリーン購入基本方針に準拠し、環境負荷の少ない商品の調達に努める。
	省エネルギー	「工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断の基準」の「新設に当たっての措置」に準じて設備の導入などを検討する。太陽光パネルの設置を検討する。
	温暖化防止	「工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断の基準」の「新設に当たっての措置」に準じて設備の導入などを検討する。
	水循環	雨水排水は水循環に配慮してアスファルト等を多用せず、浸透性を考慮し、緑地を設ける。
	廃棄物	廃棄物処理法及び建設リサイクル法などに基づき、建設廃棄物の分別処理、再資源化に努める。
	発生土	建設発生土は可能な限り埋め戻し等で再生利用し、工事間流用などを行うが、再生利用できない発生土については指定処分により適切な処理を行う。

● 審議結果通知書及び措置状況報告書の概要

通 知 事 項	措 置 状 況
<p>1 環境配慮の内容等について見直しが必要と認められる事項 なし</p>	
<p>2 基本計画の策定にあたり考慮すべき事項 「工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断の基準」の新設に当たっての措置に準じた効率の高い空調設備等の導入に努めること。</p>	<p>効率の高い空調設備やLED照明等設備の導入を予定している。</p>
<p>3 その他 太陽光発電設備の設置導入に努めること。</p>	<p>太陽光発電設備の設置導入を予定している。</p>